

NEWS

「2018愛知環境賞」表彰式

主催/愛知県 共催/環境パートナーシップ・CLUB、中日新聞



大村愛知県知事、アルメック(株) 星河秀樹氏、水野EPOC会長(左より)

地球温暖化防止への取組は、資源の循環や環境負荷の低減など、さまざまな分野で成果が表われ新しい生産スタイルや生活スタイルを文化として根付かせています。

2018愛知環境賞はそういった先駆的で効果的な取組をされた企業・団体等を表彰するもので、今年も県内の企業・団体等から46件の応募があり、金賞2件、銀賞1件、銅賞2件、中日新聞社賞1件、名古屋市長賞1件、優秀賞8件が選ばれました。

表彰式は2月15日(木)午後3時15分からローズコートホテル4階ローズルーム(名古屋市中区)にて執り行われました。

式典では始めに愛知県知事 大村秀章氏、EPOC会長 水野明久氏(中部電力(株)代表取締役会長)より開催挨拶がありました。

表彰式では優秀賞として当協会のアルメック(株)(大府市北崎町遠山143番地)と(株)毎日商会(岡崎市美合町字入込63番地19)が受賞し、大村知事から表彰状を、水野EPOC会長から楯が授与され、会場から沢山の拍手が贈られました。

アルメック(株)の取組事例は業界初の「水を使ったJIGによる金属残さの選別」です。受賞のポイントは「分別が困難であった微細な金属廃棄物について、水のみを使用する独自性の高い分別方法を構築し、再資源化率の向上を実現したことは、環境負

荷の低減と資源循環型社会の形成に大きく貢献するものと評価された。」とのこと。